

# 盛り上がった演芸大会

千二百人が

## 多彩な出し物を楽しむ

郷土芸能を通じ、市民の郷愛と交流を深めようと、南州市演芸大会が十月十四日、市民体育館で開かれ、約千二百人の観客でにぎわいました。



三島明星子ども会が演じる、息もピツタリの銭太鼓



この大会は、市福祉のまちづくり推進協議会などが主催し、今年で四回目。舞台では、各地区からの出演者約百二十人が、歌や踊り、詩吟、

劇など多彩な出し物を熱演。なかなか練習を積んだらしく、とても素人とは思えない方もおり、感心したり驚いたり。会場には、お年寄りを中心に婦人や親子連れなどの観客が詰めかけ、ステージの出演者に花束を贈ったり、カメラを構えたり大忙し。楽しい演芸に拍手かっさい、舞台上「おひねり」も飛びかい一日中なごやかな雰囲気でも盛り上がりつつ

いました。なお、各賞の受賞者は次のとおりです（敬称略）  
優秀賞：踊り・新宿旅鴉「野口臣子（岡豊町）」  
熱演賞：舞踊劇・九段の母「村田晃外四人（十市）」  
ユーモア賞：腹話術・無くなった財布「吉本志津（日笠）」  
アイデア賞：踊り・やつとん節「川添純子外六人（岡豊町）」



特別賞：二重囀・小鳥のたび、エーデルワイス・平井慶子外二十一人（大塚）

## 土曜市が16周年

## 姉妹市＝近永日曜市の

## コーナーにぎわう

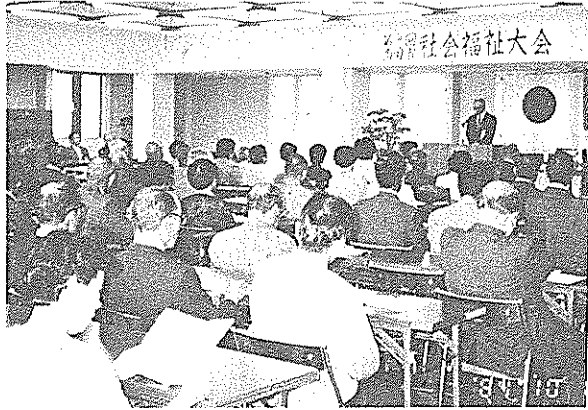
今年も恒例の土曜市十六周年記念感謝祭が十月二十日、土曜市会場で開かれ、九月に姉妹縁組を結んだ愛媛県広見町の近永日曜市も参加し、多くの人でにぎわいました。

近永日曜市との姉妹縁組は、今年二月に土曜市に視察に訪れたのがきっかけで、九月十六日には広見町で姉妹提携の調印式が行われました。  
この日は、近永日曜市の毛利範夫会長ら二十四人が、広見町から来高。土曜市会場の入口に設けられた特設コーナーでは、特産の麦みそを試食・販売、クリ、シイタケなど山の幸も豊富に並べられ、売り子の威勢のよい掛け声とともに、よく売れていました。  
このほか感謝祭では、自転車が当たる抽選会やチャリティーオークションなど、多彩な催しも行われ、チャ



広見町の特産品が並べられたコーナーは、大にぎわい

## 活発な意見交換が行われた福祉大会



## 心の通う社会を～ 活発に意見交換

### ▲市社会福祉大会▲

現在の福祉の在り方を再確認し、心の通い合い社会づくりを進めようと、十月十八日

「第十九回南州市社会福祉大

会」が開かれました。

## それぞれの活動を研修に

### 佐土原町の婦人会と青年団

南州市の婦人会、青年団活動を学ぼうと、十月十三日、はるばる高崎県佐土原町の婦人会（徳広厚子会長）と青年団（立山一郎会長）ら十一人が、研修に訪れました。これは、町教育委員会の主催で、各団体の活動充実のために、県外視察を行っているもので、今回は、香川県分寺町と本市が視察地。午後一時、到着した一行は市役所大会議室に集まり、市側からは

連合婦人会（西森律会長）と連合青年団（小松進一団長）の代表十一人が参加。市の紹介がされた後、婦人会、青年団に分かれ交流を深めました。まず、それぞれが取り組んでいるユニークな事業や、活動の問題点を報告。青年団の中では「団員の不足、行事への参加者が固定

会」が開かれました。会場の市社会福祉センターには、市内の福祉団体の関係者など百三十人が参加。利岡富次大会長らのあいさつの後、長く社会福祉活動に活躍されてこられた方の表彰が行われました。午後からは、「あなたと共に生きる」と題して、県立青少年センターの横川遊亀指導課長の講演が行われました。続いて、田内利季市教育委員会指導主事から「教育の在り方」について、高石文一、大塚地区社会福祉協議会長から「子供の福祉について考える」と、

それぞれ問題提起され、それに基づいて活発な意見が交わされました。そして、①声をかけあう運動の推進②家庭内のあいさつ運動の展開③我が子と思つて子供を世話す

る運動④学校との連携活動の四項目に取り組み、地道な活動を進めることを申し合わせるなど、今後の活動について真剣に話し合いました。

## 秋のタケノコ

### 「四方竹」の収穫盛ん

白木谷

「タケノコの里」白木谷では、今、秋のタケノコとして栽培も盛んになってきた「四方竹」の出荷が最盛期。四方竹は、春のタケノコより肉質が柔らかくおいしいと好評。市内では、瓶岩地区でも栽培、県下では、土佐山村、鏡村などでも栽培されています。白木谷では、転作がきっかけで栽培農家も増えたそう。現在約三十戸。収穫期は、十月初めから二、三週間、五〇センチの長さになったものを、一本一本手で折っていきます。それを、お湯でゆがき製品として出荷。農協が集めて、共同出荷を始め、三年になり現在、名古屋や関西方面にまで送られているそうで、当初は電話のタケノコと間違えられたそうです。春のタケノコとは、また違った趣きのある、秋が旬のタケノコ。皆さんも賞味してみませんか。



活動の問題点を話し合う青年団員



手折りで簡単に収穫できる四方竹（唐岩憲夫さんの竹林で）